が重要であると指摘する かりつけ医」の担う役割

とともに、「医療の問題

核・マラリア対策基金

ッタで、尊厳ある死のた

「グローバルヘルスは20

更に、「感染症」から「が

かを問われた横

國井修世界エイズ・結

提供するためには、「か 域で過不足のない医療を 民皆保険を堅持し、各地 問題もあるわが国で、国

どこへ行くのか?」 ルスの潮流:これから

1357 2018. 3. 20

日本医師会 Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 電話 03-3946-2121(代) FAX 03-3946-6295 E-mail wwwinfo@po.med.or.jp http://www.med.or.jp/

毎月2回 5日·20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



「日医君」

日本医師会 ハーバード大学 武見太郎記念国際 シンポジウム・・・2~3面 「第30回日本医学会総会 トピックス

「第30回日本区ナム」で 2019中部」記者発表会 4面 第1回「生命を見つめる フォト&エッセー」 表彰式 …… 6~7面

医療政策シンポジ 平成29年度 横倉 義武 会長 黒川 清 先生 平成29年度医療政策シンポジウムが2月16日、「国際社会と医療政策」をテ マとして日医会館大講堂で開催された。 当日は、サー・マイケル・マーモット元世界医師会長を始めとした3名による

講演の後、横倉義武会長も加わってパネルディスカッションが行われ、活発な

因等を説明した。

また、今後のグローバ

議論がなされた。

目にある「保健医療」の 目標(SDGs)の3番

「目標3:感染

ャンプやインドのカルカ リカ・ソマリアの難民キ 効果局長は初めに、アフ 以下GF)戦略・投資・ (グローバルファンド、 え、広範囲な課題にも取 が、その問題を解決する 協力も必要となっている は多様で、国境を越えた ためには、困難を乗り越 る」とした。 長を座長として講演に入 続いて、中川俊男副会 組む姿勢が重要にな

進行し、財源や人口減の 倉会長は、少子高齢化が 会。冒頭あいさつした横 広己常任理事の司会で開

シンポジウムは、石川

講演1「グローバルへ

①未解決な課題(エイズ、 ルヘルスの課題として、

結核、マラリア他)②公

の医師――について言 職の連携へ、(5)将来

的な戦術として、(1) 戦略の実践を支援するこ 化、(2)保健システム・ インパクトと効率を最大 貧困層、最脆弱層を第 には、資金を確保し、最 とが必要だと指摘。具体 に、各国主体の計画、

間で成果をもたらした要 Fの資金供与とインパク 療援助資金の流れと、G 介するとともに、保健医 バルヘルスに対する援助 が始まった経緯などを紹 2000年を境にグロー 冢* での自身の経験や、 (救済した命)、20年 Health Gap')] い」と結んだ。

生物学的に若い男性の方 とした。 別・年齢別調査を例に、 の挑戦』の中で「せっか 康格差 健康は緊密な関係にある 等を示し、暴力・犯罪・ や銃の入手の可否の影響 ウェールズの殺人犯の性 カゴとイングランド及び 病気にした環境になぜ返 く治療した人をそもそも がより暴力的であること していることを紹介。シ すのか」という疑問を呈 不平等な世界へ 冒頭、自著『健

剤耐性③非感染性疾患 衆衛生上の緊急事態、薬

NCD)、高齢化社会に

件う課題―

ーを挙げた。

更に、持続可能な開発

の総死亡率が多くの国で 業といった要因の累積的 中、アメリカの非ヒスパ 同じように下がっている な影響も指摘。45~54歳 淡があり、教育水準・失 して、①ドラッグ、アル けが上がっている理由と ニック系白人の死亡率だ また、健康格差には濃 起きているとした。 変化を遂げていると指 金等の社会コストの増加 高齢社会による医療・年 科学技術の進歩と長寿・ 経済・健康格差の拡大③ は、①国内経済の停滞② 摘。また、日本について ノロジーは幾何級数的な -によって社会不安が

る。我々は海外から何が えていかなければならな できるのか、じっくり考 年前から大きく動いてい

差がついていると説明し

だとした他、「認知症対

端」の活用を考えるべき 究とデジタル技術の最先 要疾病が変化する中で、

災害対応を 地域と同様の

特に認知症については、

ビッグデータとAI 社会的ロボット」「脳研

/| 帯一路/

疾患」そして「メンタル

初めて医療資

東日本大

震災の際に

面で一層重要な役割を果

ルス・認知症」へと主

ん・生活習慣病・心血管

更に、『マーモット

ラットホーム」の提案を

行っていることを紹介し

共に役立て

策の産官学などの協力プ

とを紹介し、

してつくった

健康日本21

寮政策と海外

げ、社会的要因によって

ル性慢性肝疾患

設した『死を待つ人々の めにマザー・テレサが創

Society and 'The 会と健康格差(Global 講演2「グローバル社 のために、六つの目標を レビュー*(※2)で、 提唱したことに触れ、健 公平な社会、健康な生涯

マーモット元世界医師 മ : Adverse Childhood を強調した。 るとして、教育の重要性 タートを与えるべきであ Experiences) をなくし 期にあるので、子ども時 全ての子どもに最良のス 代の悪しき体験(ACE 康な大人の始まりは幼児

課題と将来」 講演3「日本の医療

おり、パラダイムは大き で各国は内向きとなって ローバル化している一方 構代表理事は、世界はグ く変化し、デジタルテク 黒川清日本医療政策機

いるが、その達成のため 症の終焉」が挙げられて

スカッションが行わ 演者に横倉会長が加わっ ルヘルスを通して国内医 た4名によるパネルディ 京大学大学院医学系研究 寮政策に役立つことは何 授が座長を務め、3名の 科国際保健政策学教室教 その後は、渋谷健司東 議論の中で、グローバ

「国際社会と医療政

倉会長 ¾ 1 : UHC (Universal Health Coverage : ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ) とは、全ての人が適切な予防、治療、 リハビリ等の保健医療サービスを、必

る状態。

要な時に支払い可能な費用で受けられ

※2:マーモット・レビューとは、2008年に 最終報告を出したWHO「健康の社会 的要因」委員会(CSDH: Commission on Social Determinants of Health) の 委員長だったマーモット氏が、イギリ スの保健省の援助の下に設置された委 員会から2010年2月に発表した新たな レポート。

パネルディスカッショ

律した組織として存在し いくことを求めた。 ていけるよう、変化して 要国が協力し 格差拡大等に あり、日本は モット氏は

及。医師会はもっと責任 きだとするとともに、自 を持って医師に関わるべ を挙げ、その 日本の関与について、マ 推進していくとした。 国際環境変動の中での 開発支援の

づくりに貢献すること_ しっかり育つような社会 対しては主 気候変動や 合うべきで 取り組みを めて、合計416名。

割として、 めること」と「子どもが ス分野における日医の役 ントと考えて 更に、グローバルヘル 「UHCを広 いる」と述

り方、(3)医師の働き方、

なる、

(2)

医師会のあ

(1) 医師は医師会員と

べた。

ど、(4) 医療人、医療 数、分布、労働基準法な の社会的責任として、

最後に、医師・医療人

総括し、シンポジウムは 師会におけるテレビ会議 盛会裏に終了となった。 を聞くことができた」と い話とディスカッション いつも以上に視野の広 参加者は、16道府県医 最後に、中川副会長が、

というプランを日本の や、中国を訪問した際に で「健康中国2030」 が、国際保健と地域保健 ていくこと 政策の一環 行ったこと と聞いたこ 源の乏しい での経験を 環境下での 「自国の医 を参考と 調した。 功例をPRできるチャン 地域の連携を構築した成 ル会合のテーマに、結核、 え合うこと』であると強 グローバルヘルスは『教 日本が医師を中心として が取り上げられており、 年の国連総会のハイレベ 考えを示した。 たせるのではないかとの スだ」と述べるとともに、 また、國井氏は、「今

を連結する際のキーポイ 作成に取り組んでいるこ ジェンダ(行動計画)の 最先端国である日本がど 世界が注目しており、ア う知恵を絞ってくるか、 黒川氏は、高齢社会の

システムでの視聴者を含 とを紹介した。 者(共催):日医、ハー 際シンポジウム」〔主催 ド大学 武見太郎記念国

ード大学T.H.Chan公衆

生存科学研究基金〕が2 月17日、「地域医療シス

景には、UHCとしての

"国民皆保険"

の確立が

東京都医師会、武見記念 衛生大学院(HSPH)、

学 武見太郎記念国際シンポジウム

の基盤を築く UHC (ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)

海外から、世界医師会(W 師会関係者、武見フェロ ヘルス・カバレッジ)の UHC(ユニバーサル・ 約350名が出席した。 湾医師会、タイ医師会等、 MA)、韓国医師会、台 ク(JMA-JDN)の他、 アドクターズネットワー 東京都医師会役職員、医 委員、日医総研研究員、 日医国際保健検討委員会 日医会館大講堂で開催さ 基盤を築く」をテーマに、 - 、医学生、日医ジュニ 当日は、日医役職員、

本政府、世界保健機関(W

った。

• • • • • • • • •

した。

健康寿命を世界トップレ いさつにおいて、日本の 68代WMA会長の就任あ 会長は、昨年10月のWM が国の医療システムの背 ベルにまで押し上げたわ Aシカゴ総会における第 てあいさつした横倉義武 長並びにWMA会長とし 会で開会。冒頭、日医会 道永麻里常任理事の司 平等の原因となっている 存在する健康に関する不 WMA会長が、諸国間に ・マイケル・マーモット元 **に保健政策」では、サー**

日本医師会 ハーバー

モデルもまた『国民皆保 社会を「安心」へと導く 経験したことのない高齢 あった点を強調したこと めていく必要がある」と 険』であり、世界中に広 に触れ、「今後、世界が また、昨年12月に、日 言及。「UHCの推進に けて日本も大きく支援し 賓あいさつをそれぞれ行 が主催者あいさつを、加 院議員(実行委員会委員) と期待感を示した。 ウムは、大変意義がある」 向けたグローバルな課題 ていく」と述べたことに 上国のUHCの推進に向 ム2017」で、安倍晋 UHCの基盤を築く』 として、『地域医療シス について議論していく場 三内閣総理大臣が、「途 テーマとした本シンポジ **アムとイノベーション:** 膝勝信厚生労働大臣が来 続いて、武見敬三参議

テムとイノベーション:

健康の社会的決定要因 (SDH) について講演

基調講演

を行った。 り組みが必要である」と の是正には、社会的な取 であると指摘し、「格差 格差によって生じるもの はなく、社会的・経済的 に対するアクセスの差で における不平等は、医療 マーモット氏は、健康

述べた。 務理事と共に、文部科学 副会長)、弓倉整同会専 道永麻里常任理事(同会 校保健会長)は2月22日、 横倉義武会長(日本学

理事の座長の下、三題の

中谷比呂樹WHO執行

基調講演が行われた。

基調講演1「社会正義

拠に基づく政策』、社会 を振り返り、「一科学的根 また、WMA会長時代

ライシュハーバード大学大学院主任教授 動してきた」とした上で、 公平な社会、健康な生涯 のための六つの政策目標 使命であるとの思いで活

- モット元世界医師会長

プログラムのマイケル HSPH武見国際保健

を 教審における TOKY

臣に中央教育審議会にお ける学校保健の更なる充 省を訪れ、林芳正文科大 実に向けた対応につい

て、謝意を表した。

を表明したことに触れ、 界の保健分野のリーダー 盛り込んでいると説明し がUHCを達成するため いて、横倉WMA会長や UHCが世界の政策アジ に、その支援を行う考え 安倍総理を始めとする世 ォーラム2017」にお は部活指導員の配置等を (1) では、「UHCフ

横倉会長・道永常任 理事

H〇)、世界銀行、ユニ された「UHCフォーラ ICA)等の主催で開催 セフ、国際協力機構(J



教

目指した二カ国の経験 (日本とメキシコ)、(4) が果たしてきた功績を称 ェンダになるために日本

学校保健の充実への対応に謝意 の、そして人生における の下、健康の社会的要因 することが、会長として て『健康の公正』を推進 に対する働き掛けを通じ 止義の精神』という考え と述べた。 進歩」で、(1) UHC をめざして:一歩一歩の 調講演2「ユニバーサ ライシュ主任教授は、基 置基準の引き下げを求め 興基本計画においては、 踏まえ、「第3期教育振 ら1年が経過したことを 教審の委員に就任してか するか、(3) UHCを ェンダとなった、(2) が世界と日本の政策アジ を改革する大前提とし た。更に、教員の働き方 訴え、養護教諭の複数配 いる現場の厳しい実態を 護教諭が一人で対応して まな学校保健の課題に養 題行動、アレルギー疾患、 いじめや不登校、性の問 考えがあることをお示し 界から意見を取り入れる の働き方について、医療 健康教育の内容を充実し UHCをどのように達成 ル・ヘルス・カバレッジ ネット依存など、さまざ 頂き、深く感謝している_ て頂いた。また、教職員 に学校医の代表として中 また、弓倉専務理事は、 横倉会長は、昨年2月 を増やす要因になってい く」と述べ、その一環と 師が対応すべきこと、ッチ 臣は、「部活が教員の大 どは業務を仕分けしてい 外部に委託できることな と、給食費の回収など、 るとの認識を示し、 が低いことも教師の仕事 きな負担になっている。 ていくことも要望した。 して来年度予算において 者の連携で対応すべきこ ーム学校』として、関係 て学校の事務職員の割合 応が必要」と応じた。 っているが、緊急的な対 先生は生徒のために頑張 て、教員の定数を増やし これに対して林文科大 更に、西欧諸国に比べ

UHCを目指すための教 -について講演。

基調講演3 世界 当初、認知機能検査で

断書記載を求められるこ

日頃、専門医として診

を柱とした改正道路交通

法が昨年3月に施行され

うに見える。 進められているよ 混乱なく手続きが 過したが、大きな 法改正後1年を経 載の協力が求められた。 かりつけ医にも診断書記 応できないことから、か 認知症専門医のみでは対

られると家族が

機能検査を強化すること として、75歳以上の認知 加傾向である。その対策

が急増すると予想され、 断書を求められる高齢者

を考え情に流されて判断

とが多い。結果の重大性

することはないが、

個々

倉会長は、WMAは最高

り組みが急務となってい 題等、喫緊の課題への取

∠ 医師会の貢献」で横

させていく」とした。 め、その活動を更に充実 たい」と述べるとともに、 取り組みを展開していき Cの推進と支援に向けた 医療の確保と維持、UH 衆衛生の確立、安定した る」と指摘した。 機能を可能なかぎり高 して、途上国における公 「WMAのプレゼンス、 また、「WMA会長と

齢社会、日本の経験」 セッション1 療と健康長寿:少子高 武見参議院議員の座長 「地域医

学院教授は、 また、磯博康大阪大学大 齢社会におけるライフサ を原動力とした「少子高 医科大学教授は、地域と の下、後藤あや福島県立 共に歩むチーム保健活動 イクル・アプローチ」を、 「生活習慣

果を上げたわが国の公衆 病に立ち向かい大きな成 ション」

日本の公的医療保険の三 フリーアクセス、現物給 つの特長(国民皆保険、 について講演した。 付)や医療提供体制など 団塊の世代が75歳以上 鈴木邦彦常任理事は、 り、患者・国民を中心に のイノベーションによ でも活用できるオープン 教授は、ITと関連社会 裕章慶應義塾大学医学部 な情報基盤の可能性につ た保健医療情報をどこ

衛生の展開と課題」を論 教授を座長として、宮田 世界をつなぐイノベー マリ・ヘルス・ケア」に HC実現のためのプライ セッション2「地域と ついて説明した。 ンド保健家族福祉省次官 笠貫宏早稲田大学特命

武見プログラム

になる2025年に向け だ医療提供体制の構築の いて、大田秀隆厚生労働

日

割が重要になる」と強調。 連携のまとめ役として医 師会とかかりつけ医の役 なる必要があり、多職種 政と医師会が車の両輪と 包括ケアシステム」と「地 ポイントとしては「地域 域医療構想」を挙げ、「行 スジャータ・ラオ前イ 「インドにおけるU 施策推進総合戦略の取り 革新、包括的支援認知症 知症をめぐる技術・社会 室認知症対策専門官は認 省老健局認知症施策推進

ョンについて解説。

の生活の背景を知ると苦 慮することが少なくな トル先の田んぼに行く 「軽トラックで数百メ 「長年、無事故・ 無違反で運転に

数は年々減少している

交通事故による死亡者

高齢者の自動車運転に思うこと

が、死亡事故件数のうち

局齢運転者の割合は、増

懇願される。一方、付き 添いの家族などから「運 やめて欲しいけど、言う コミが絶えない。運転を 転が荒い。車のキズ、へ 困る」などと運転継続を の後の生活が気になる。

展望についてそれぞれ説 ーションの影響の歴史的 療の課題におけるイノベ ラム事務局長は、地域医 ンプHSPH武見プログ るべき姿や老い方につい 器を用いた介護現場のあ は、ICTやハイテク機 泰国際医療福祉大学教授 組みについて報告。高橋 て、また、ジェシー・バ

枠組み」 セッション3「地域医 療の国際展開を支える 格差是正」をテーマとし 子高齢社会における健康

翌18日午前には、「少

武見プログラム設立

た。

ローによる講演が行われ

日本、韓国、台湾のフェ

れた。

を変革させるために新た 課長は、医療制度の未来 に実現すべきイノベーシ ラ世界銀行保健サービス して、ミッキー・チョプ ライシュ教授を座長と

こともある。時間をかけ 処分を受けた高齢者のそ い。今回の法改正の高齢 策としての実効性、及び 運転者による死亡事故対 決して少ないわけではな さなければならない点は ストの実施等、今後見直 多様性を考えると実車テ ないのも事実である。 主返納される方が少なく と怒る」などと言われる (話しているうちに、自 認知症の症状・経過の

プリズム

問題はない。免 許証を取り上げ

だけ

ようなパラダイムで互恵 アジア諸国と日本がどの は、高齢化社会において また、武見参議院議員 みや国際協力活動につい て説明した。 イノベーションの取り組

特別講演

ーサイエンス」の概念、 事長は、「レギュラトリ 総合機構(PMDA)理 近藤達也医薬品医療機器 性について言及した他、 的な規模への発展の可能 考察するとともに、世界 関係をつくっていけるか の教訓」(ブライアン・ 題:価値はあるのか? ック準備における保健問 リンピック・パラリンピ 2012年ロンドンから 長が座長を務め、(1)「オ 尾﨑治夫東京都医師会

の二つの講演が行われ 響」(マルシア・カスト 口HSPH准教授)-クの全体的な健康への影

マクロスキー英勲爵士/

験から学ぶ:オリンピッ WHO協力センター)、 ク・パラリンピックの経 (2)「リオオリンピッ 模健康危機管理に関する

大規模イベントと地球規

総括講演とまとめ

三つのセッションの座長 学長が総括講演として、 Cの基盤であり、ポスト 合への思慕の理解がUH 生存科学の多文化性と統 要であることを論じた後、 近代医学を考える上で重 下、永井良三自治医科大 道永常任理事の座長の

設立35周年フォーラム 35周年フォーラムが東京 来展望、現在のフェロー あった。 についてそれぞれ説明が

の成功事例」をテーマに、

会における健康格差是正

今後の展望―少子高齢社

見プログラムの歴史、将 ディネーターからは、武

む武見フェローの活躍と

による総括が行われた。

都医師会館講堂で開催さ は、「地球規模課題に挑 その後のセッションで

携の強化、将来展望を議 行われたものである。 論することを目的として を記念し、フェローの連 プログラムの設立35周年 本フォーラムは、武見

見プログラムはハーバー 見フェローの更なる活躍 く考えを示した。 ているとして、日医とし ド大学でも高い評価を得 を期待するとともに、武 ても継続して支援してい で、国際保健における武 横倉会長はあいさつ

授、バンプ事務局長、エ 重要になる」と述べた。 果を定量的に示すことが 指摘し、「今後はその効 に投資することの意義を は、医療分野の人的資源 講演で、武見参議院議員 ミリー・コールズ また、ライシュ主任教 引き続き行われた基調

> 関する国際会議 健康・タバコフリー 2020年東京オリンピック・ ラリンピックのレガシーとしての 社会づくりに



ク・パラリンピックの 講演で、「運動により リオでのオリンピッ さつの後、ロンドン、 場で開催され、小池百 影響が論じられた。 寿、健康増進の効果や 経験から得た教訓、 ポーツによる健康長 合子東京都知事のあい 尾﨑都医会長は基調 ス

関する国際会議」 バコフリー社会づくりに ガシーとしての健康・タ 020年東京オリンピッ ク・パラリンピックのレ 同日午後からは、「2 が同会 体感を得ることが、未来 識を国民全体に広げ、 でのレガシーとなり、 に続くこの大会の健康面 義ともなると強調した。 **大会を開催する重要な意**

れる体制整備に向け、積

極的に政策提言を行って

ス支援を目指して」と題

一周産期メンタルヘル

診体制(Bright Futures)

と本邦への応用の検討_

会では、産科医療機関で れてきたことから、同医 産婦の存在が広く認識さ

述べた。

平成29年度母子保健講習会

多職種連携による **子育て支援を目指して」をテーマに**



いくとした。 演2題が行われ として、基調講 会委員長を座長 理事長/日医母 療研究センター 嵐隆国立成育医 子保健検討委員 続いて、五十

生労働省子ども 包括支援センタ 家庭局母子保健 演した北澤潤厚 の」について講 「子育て世代 の目指すも

館大講堂で開催された。 切れ目なく支援を受けら 期から子育て期にわたり の一つに「夢をつむぐ子 成27年4月)の施行や、 国において、「子ども・ 川俊男副会長代読)は、 さつで横倉義武会長(中 習会が2月18日、日医会 げ、日医としても、妊娠 められていることを挙 るなど、少子化対策が進 育て支援」が盛り込まれ 三本の矢」 (同年9月) 安倍内閣の掲げた「新・ 子育て支援新制度」(平 司会で開会。冒頭のあい 平成29年度母子保健講 温泉川梅代常任理事の 課長は、 が支援台帳を用いて情報 増していることを指摘。 わっていることを説明し 共有しつつ、継続的に関 助産師、看護師、ソーシ 護者を対象に、保健師、 ての妊産婦、乳幼児と保 他、同センターでは、全 を目指しているとした までに全国展開すること ンター」を平成32年度末 妊娠期から子育て期にわ てが孤立化し、負担感も の希薄化等によって子育 ャルワーカーなど多職種 「子育て世代包括支援セ たり切れ目なく支援する 地域のつながり 携による子育て支援を目 が行われた。 長)をテーマに講演三題 子保健検討委員会副委員 熊本県医師会長/日医母 指して」(座長:福田稠 が有用であると述べた。 があるか(興味や喜びの みをほとんどなくして、 講演「米国の小児の健

うつ気分)、(2) 過去 されたことがあるか(抑 既往歴を把握し、精神科 後の再発率が高いと強 病」「双極性障害」は産 重大学保健管理センター して講演した岡野禎治三 ことに興味あるいは楽し カ月の間に、物事をする になって、しばしば悩ま なくて、あるいは絶望的 が落ち込んだり、元気が 過去一カ月の間に、気分 リーニングには、(1) るうつ病の包括的なスク るとともに、産後におけ と連携する重要性を訴え 症のうつ病」「産褥精神 データで示した上で、「重 授は、妊産婦の自殺事例 、大学院医学系研究科教 精神既往歴との相関を 妊娠期からこれらの 考えを示した。

しばしば悩まされたこと 引き続き、「多職種連 ―の二つの質問 殺であることを報告。心 期の自殺件数として、2 常死8例のうち63例が自 005年から10年間の異 は、東京都における周産 科医会常務理事/さがら した相良洋子日本産婦人 と課題~」と題して講演 ルス〜多職種連携の現状 理社会的支援が必要な妊 レディスクリニック院長 「周産期のメンタルへ

うるリスクに対してもア 明。次回指導までに起き 校・学校医・スクールカ ドバイスできるものであ となっていることを説 的に保健指導を行う指標 り、かかりつけ医が継続 診療部総合診療科)が、 では阪下和美氏(国立成 くことが必要になるとの つ、予防的に介入してい ウンセラーと連携しつ には、地域の医療者が学 の保健指導に応用する際 り、日本で思春期世代へ ントなどが示されてお 齢ごとに確認すべきポイ 生から21歳まで月齢・年 Futures」を紹介し、 たガイドライン「Bright 米国小児科学会が作成し 育医療研究センター総合

本医学会総会2019中部

寿社会の実現をめざして~」をテ

0

医療の深化と広がり

表会が2月28日、 会2019中部」 館で行われた。 第30回日本医学会総 一記者発 日医会

ニングとケアを行う取り 種の連携で早期介入し、 必要な妊産婦のスクリー づくりが課題である」と 長期に支援していく体制 「行政や精神科など多職 組みを進めているとし、 メンタルヘルスの支援が 2日~4月28日、名古屋 ごや)、医学史展 (3月 月7日、ポートメッセな

大学博物館)などがそれ 「発達障害幼児の支援

医療研究センターこころ 演した小枝達也国立成育 れることが多いため自信 問題がある子どもは叱ら の診療部長は、「発達に 後の対応―」について講 がなくなり、学童期後半 健診での気づきとその

また、5歳児健診は、

古屋国際会議場など)、 展示(4月26~29日、名 国際会議場など)、学術 市民展示(3月3日~4 年4月27~29日、名古屋 て~」をメインテーマと 長寿社会の実現をめざし 療の深化と広がり~健康 して、学術集会(平成31 本総会は、「医学と医 引き起こす」として、発 にも、就学前の5歳で健 達障害の早期発見のため 以降に社会への不適応を の解決の糸口になること 通れない問題となってお グローバル化は避けては の医療」が取り上げられ 発展に貢献してきたこと り、日本の医学・医療の 診を行うことが有効であ から学校不適応、思春期 を期待している」と述べ くの問題の再認識と、そ 在日本が直面している多 ઇ たことに言及。「医療の 「グローバル化する日本 回の総会のプログラムに に謝意を示した上で、今 総会での議論が、現 る。 われたものであ は、医学会総会が た横倉義武会長 説明するために行 から、その概要を そ1年となること ることになってい 奨励賞が新設され る日本医学会総会 一世紀以上にわた は、開催までおよ 冒頭あいさつし 今回の記者発表 る場にもなると強調し に向けた心構えを喚起す ことで、育児支援と就学 談・教育相談へつなげる 子育て相談・心理発達相 が弱い子どもに気づき、 それぞれ説明した。 演会との連携につい

他、今後の医学会でれ開催される 手研究者を表彰す め、医学上、優れ を活性化するた た業績を上げた若 成功させるため、全力で ものになっている。日本 医学会としても、総会を 柱は今の時代に合致した で、今回の総会の四つの 題が時々刻々と変わる中 協力していきたい」とし は、「医療を取り巻く問 門田守人日本医学会長

羽鳥

が展示会事業、長谷川好 ログラム委員長(名大教 市民展示・医学史展に30 会・学術展示に3万人、 生き方④グローバル化す の柱(①医学と医療の新 の会頭である齋藤英彦名 が日本内科学会総会・講 授)が学術講演、若林俊 備委員長(名大理事)が る医療③医療人の教育と 展開②社会とともに生き 会の基本構想である四つ 規総務委員長(名大教授) 彦展示委員長(名大教授) 総会の概要、門松健治プ いること等を概説した。 万人を参加目標に掲げて る日本の医療)や、学術集 古屋大学名誉教授が、総 その後は、髙橋雅英準 引き続き、今回の総会

社会性発達や行動統制力 名であった。 当日の出席者は205

介護保険課 30―3942―6491・年金・税制課 31―3942―6487・生涯教育課 31―3942―6139・編集企画室 33―3942―6488・日本医学会 33―3942―6140・情報サービス課 33―3942―6482・医学図書館 33―3942―6492・国際課 33―3942―6489 総務課 (人事・労務) 33―3942―6493・総務課 33―3942―6481/ 33―3942―6477・施設課 33―3942―6486・広報課 33―3942―6483・情報システム課 33―3942―6135・医療保険課 33―3942―6489

日

本

矢

師

슾

親しみのある団体として く国民にも、より身近で 日医を、医師だけではな する専門家集団」である

することになりました。

数(一人合計10枚以上)

ります。

話番号を記入し、購入枚 便番号・住所・氏名・電

種別(ブルーまたはピン

日本医師会

po.med.or.jp]

関する取り組み状況調

ら参加申込書をダウンロ

-ドし、必要事項を記入

forum/006626.html) か

先:日医広報課 プレゼント、御礼など

を、日医会員限定で販売

「日医君」の図書カード

このたび、「医療に関

的として作成した、日本

◆申込方法:郵便、FA

Xまたはメールにて、 郵

日医会員限定

◆価格: 一枚5 (販売方法)

さい。

にご活用下さ

医師会新キャラクター

認知してもらうことを目

(5) 第1357号

つで横倉義武会長

516・日本医師連盟 (3―3947―7815) 感染症危機管理対策室 3-3942-6485



開催された。 14日、日医会館大講堂で 援事業連絡協議会が2月 会で開会。冒頭のあいさ 今村定臣常任理事の司 た。

日

日医君」図書カード 販売

医

信越・東京、中部、近畿、 目指していく考えを示し 事業等の一層の活性化を (北海道・東北、関東甲 議事では、6ブロック

医師会加入率を上げるこ 常任理事は、主に病児保 ック:飯塚康彦長野県医 会であり、そのためにも に一番力になるのは医師 を概説した上で、医師が 事は、同県医の取り組み 神村裕子山形県医常任理 取り組みについて報告。 福島・岩手の各道県医の 道・青森・秋田・宮城・ 就労の問題に直面した時 とが重要だと指摘した。 関東甲信越・東京ブロ 子石川県医理事は、富山

した。

性医部会幹事は、北海 ク:梅邑明子岩手県医女 的な取り組み等を紹介し 議の総括や特徴的・先進 ター)事業ブロック別会 ンター(以下、支援セン 大分)が女性医師支援セ 北海道・東北ブロッ 等を紹介した。 中部ブロック:轟千栄

た。

ク)を明記の上、日医広 報課宛でにお申し込み下 県医の富山大学医学部3

認ができ次第の発送とな 6-6295′ ■ kouhou@ 83(直通)、図3-394 都文京区本駒込2―28― ◆申し込み・問い合わせ 代金の振込(入金)の確 ※なお、図書カードは、 のご案内をお送りしま 入金方法(銀行振込) **5**03-3942-64 東京 の設置や子育て支援等に 都府医の「医師のワーク 医師メンター制度や「研 学の女性医師支援の取り の意識及び環境調査、滋 ライフバランス委員会_ 修医レター」の発行、京 組み、和歌山県医の女性 業、奈良県の県立医科大 ポート事業や育児支援事 賀県の医学生・研修医サ 県医の施設長・勤務医へ 司大阪府医理事は、兵庫

府県医師会(岩手、山形、 中国四国、九州)から7 長野、石川、大阪、徳島、 の就業を支援している医 を行ったことを報告。茨 ッターサービス支援事業 委員は、長野県の病児等 美長野県医勤務医委員会 解説した。また、黒川由 師保育支援事業について て行っている、子どもの 村及びファミリー・サポ 城県医が、県や関係市町 育施設について意見交換 送迎及び病児等ベビーシ 時預かり等、女性医師 ト・センターと連携し

で、今後は、各県医担当 みの成果を説明した上 関」認証制度の実績など、 性が働きやすい医療機 であること、三重県の「女 療体験学習事業等が好評 の医学生のための在宅医 年生への講義や岐阜県医

の強化を図る意向を示し 理事の情報共有・連携等 近畿ブロック:笠原幹

or.jp/doctor/female/ 873-1111 ◆参加費:無料 本町4-2-50 ◆場所:ザ クラウンパ 午後1時~5時15分 ◆申込方法:日医ホーム レス新阪急高知(高知市 ◆日時:5月26日(土) ◆担当:高知県医師会 ページ(http://www.med.

5088

各県医の特徴ある取り組

第

14回男女共同参画フォーラム

をめざして〜超高齢社会 がさらに輝ける医療環境 ◆メインテーマ:次世代 ▼主催:日医 で若者に期待する

◆申込締切:4月20日 ◆主なプログラム 基調講演「次世代につ

の試み」(倉本秋一 境マネージメント:高知 医師会女性医師支援セン 1「偶然と集いの医療環 女共同参画委員会②日本 ・シンポジウム ・報告(①日本医師会男 般社 ◆問い合わせ先:日医総 大阪府医の院内保育 九州ブロック:中田健

問題への同県医の取り組 各県医の取り組みを紹介 ること等を説明した他、 を実施し、その結果を受 回開催し成果を上げてい に関する講演会」を複数 介護に関するアンケート みについて報告。育児と ず医師会員の関わる介護 参画委員会委員長は、ま 田博子徳島県医男女共同 「介護と仕事の両立

どについて説明した。 所・託児施設の現況等に 関するアンケート調査な 中国四国ブロック:岡

けていることや、キャリ う「お留守番制度」を設 い人のために、かかりつ 会」に宮崎大学医学部医 員会委員は、宮崎県の「未 成・配布によりキャリア アサポートブックの作 の外来業務を担ってもら け医が訪問診療に行く間 加していること、熊本県 学科5年生の約9割が参 来の医療を語る全員交流 では無理なく復職をした

えていることなど、各県 医の取り組みを概説し 支援に前向きな病院が増

大分県医男女共同参画委

る質疑が多く出された 制度や、病児の送迎支援 も、女性医師を支援する など「病児保育」に関す 裏に終了となった。 が行われ、協議会は盛会 制度である」との意見や 在宅医療を支える意味で 他、「『お留守番制度』は、 きやすい医療機関」認証 合討論では、「女性が働 ためにも、大変有意義な てなど、活発な意見交換 医師の働き方」につい その後の質疑応答・総 参加者は148名であ

または郵送にて申し込み の上、所属している都道 府県医師会宛てにFAX

橋淑子京都大学大学院教 ながる生命科学とは」(高 ォーラム宣言採択 ·総合討論 第14回男女共同参画フ

理事長) 団法人高知医療再生機構

ら」(大西恵理子オレゴ 哉氏(いずれも研修医)〕 2 「若手医師が考える少 4「高知県医師会・高知 国オレゴン健康科学大 3 「女性医師の現状、米 成」〔児玉佳奈氏、岡村徹 師会常任理事) 県女医会の活動につい て」(計田香子高知県医 子高齢時代のキャリア形 ,健康科学大学助教授) 家庭医療科の現場か

477 (直)] 用希望者は、保育室利用 育室を設置する予定。利 ※なお、当日は会場に保 務課〔☎3-3942-6 込み時に連絡願いたい。 申込書に記入の上、申し



「生命を見つめるフォト&エッセー」

受賞者を表彰 25名の



続いて、道永麻里常

(代読) 他の祝辞に

にしてきた」と述べ、受

任理事が、フォト部

日動火災保険株式会社、 生労働省後援、東京海上 東京海上日動あんしん生 医・読売新聞社主催、厚 るフォト&エッセー」(日 第1回「生命を見つめ を統合、リニューアルし スト」と「『心に残る医 見つめる』フォトコンテ 実施してきた「『生命を で開催された。 療体験記』コンクール」 本事業は長年にわたり 作品を拝見し、改めて生

命保険株式会社協賛)の 玄彰式が2月24日、

て、今年度より開始した

命や絆の大切さに気づか

部」の最優秀賞、優秀賞

に送付する予定。

5月号に同梱して全会員

てまとめ、『日医雑誌』 載している他、冊子とし は日医ホームページに掲

てあいさつした横倉義武 会長は、多数の応募があ ものである。 冒頭、主催者を代表し

ったことに謝意を示した

上で、「それぞれの入賞 別賞各1名、入選6名の 働大臣賞、日本医師会賞、 門「一般の部」の厚生労 受賞者、続いて、「中高生 読売新聞社賞、審査員特 与された後、エッセー部

なお、今回の入賞作品

名の受賞者に、それ の厚生労働大臣賞、 ぞれ賞状・副賞が授 別賞各1名、入選5 り、まず、フォト部門 新聞社賞、審査員特 日本医師会賞、読売 あったことを始め、 という多数の応募が た経過報告を行った。 審査の詳細等も含め セー部門1115編 門2206点、エッ 引き続き表彰に入 ている」と述べた。 いい。次回も楽しみにし

き掛けていくと述べ うよう、引き続き働 の意識を高めてもら をもつことが重要で ら健康を意識し、日 と述べ、受賞者への かりつけ医」として 民の信頼を得るた あるとした上で、国 きる「かかりつけ医」 頃から何でも相談で され、深く感動した」 め、医師の側にも「か 祝意を表した。 ためには、若い時か やかに暮らしていく になっても元気で健 加藤勝信厚労大臣 また、今後、高齢 うになったことで写真の 状・副賞が授与された。 の受賞者に、それぞれ賞 のか、会えるのを楽しみ 表現力豊かなものと実に り豊かな表現ができるよ 真家協会長が、「カメラ は、フォト部門審査員を をどのような方が撮った た。本日はこれらの写真 が広がっていると感じ さまざまで、写真の世界 入賞作品については、「面 る」とした上で、今回の られるようになってい 面白さを多くの人が感じ の機能が多彩になり、よ 代表して熊切圭介日本写 白いもの、魅力的なもの、 その後の審査講評で

は読みにくいが、相手を わってくるかを重視し きの原稿は審査員として みが行き交う時代。手書 相手の見えないデータの に、「メールやSNS等 と選考を振り返るととも 査をしたくはなかった」 差し支えなく、正直、審 た。どなたが受賞しても 東京大学名誉教授は、「テ 査員を代表して養老孟司 賞者を祝福した。 感じることができるのが ーマがいかに読む側に伝 また、エッセー部門審

フォト部門

本医師会賞

負けない

ていた。

いやりに、いつも救われ かった。私はA先生の思 られるとは、到底思えな る現実を冷静に受け止め 母に、父の身体に忍び寄 ずいてくれた。あの時の いまなざしで大きくうな から目をそらさず、優し

武

徳島県板野郡 73歳·無職

逵中美知子 (三重県)

大野

柴

伊藤

金指

丹羽

戸崎

富士本

〜コンコンコン♪」

武 (徳島県)

晃(北海道)

孝(北海道)

(神奈川県)

侑貴(沖縄県)

賢一(宮城県)

安司(千葉県)

小川かをり(東京都)

坂口有美子

森田

八木

河野

穴田

馬場 広大 (鹿児島県)

御代田久実子(東京都) 欣也(愛媛県)

真帆(埼玉県)

房子(愛媛県)

未実(東京都)

未優(千葉県)

(東京都)

別の場所に腫瘍ができ、 父は1年の間に4回もメ

除いても、月単位でまた

したのだが、患部を取り

総合病院で緊急手術を

てきた矢先のことだっ

エッセー部門 日 本医師会賞

$\overline{\mathbf{A}}$ 先生の『ここだけの話』

58歳・主婦 徳島県徳島市



蔵の時に脳腫瘍が見つか た。父はその6年前に 今から17年前。父が66 渡れたなべ その度に父の身体機能

うやく平穏な日常が戻っ 機を乗り越えながら、よ 脳出血で倒れ、何度も危 感覚も麻痺してしまい、 後の手術の後は、排泄の や意識レベルが衰え、最 いようだった。 母や私のことも分からな 知らせていなかった。

思を尊重してあげよう 障害に陥ったら、自分の 認知症になったり、意識 っていた。私達は父の意 哀れな姿を他人には絶対 に見せないでほしいと言 父は日頃から、自分が

切切 の簡易ベッドを持ち込 うかがっている母の行為 そばに張り付き、時々ド 父よりも母の方が心配だ だった。私は正直言って、 は、周りから見ても異常 アを開けては人の気配を た。そして何かに取り憑 かれたように一日中父の 毎日泊まり込んでい

母は病室に折りたたみ

生から父の病状や余命を

先生を問い詰めた。 A先

すがるような目でA

対に治りますよね?」っ

主治医のA先生は、

友人、知人には

られていたのかも知れな のその言葉は、父だけで をかけながら入ってく い。母は回診の度に、「絶 はなく、私たちにも向け る。今から思えばA先生 いですか~?」って、声 うですか~? 変わりな 間延びした口調で、「ど 繁に病室を訪ねてくれ 穏やかで、ちょっと の感情を全身で表現して た。その時の父は、喜び いるように思えた。 父は確かに首を縦に振っ よかった」と言った時、 め、「友ちゃん、会えて さんが父の両手を握り締 流れ出した。そして寛吉 しゃにして、大粒の涙が た。そして顔をくしゃく ろうとする仕草を見せ

と言い残して、 から、改めて伺います」 流れた。A先生は、「後 の間につかの間の沈黙が き崩れてしまった。3人 は顔を覆い、その場に泣 てあげられなかった」母 光景の一部始終を打ち明 現れた時、私はさっきの 「夫との約束を、 午後の回診にA先生が 部屋を出 守っ

ちになった。A先生は母

は、いたたまれない気持 全て知らされていた私

った、夜の8時過ぎ、ド それから5時間ほど経

の件なのですが……」

立っていた。 アをノックする音がし

生は椅子に座って、 「今、勤務が終わって、

巣を発見するだけの人間 羅針盤になっています」 い時期もありました。で んちくを聞くのが鬱陶し 志す僕としては、父のう 添え』って。西洋医学を ロボットになるなよ。常 言葉があるんです。『病 に患者と家族の心に寄り した時に、父に言われた 今では僕の、貴重な

ることって何ですか」母 の質問に、A先生は神妙

せ、恐る恐るドアを開け た。母と私は顔を見合わ

帰りに寄りました」A先 に語り始めた。

てね。僕が医学部を卒業 「僕の父は、 住職でし

「今の夫に家族ができ

話』ですが……、お父様 「これは、『ここだけの

な顔でこう答えた。

す。お父様は、きっとう す。お父様は、そのお友 です。人間の気持ちは、 葉は、真実です。そして だちに会いたかったので 日々移り変わっていきま 今日のお父様の姿も真実

私

ていった。

が元気な時に言われた言 「でも、夫からあれだ その言葉に、母の顔か 明されてないですから、 混濁している状態でも、 あげてください。意識が たちに念を押した。 幸せそうな笑顔を見せて んですよ」 相手の表情だけはわかる 「今の話、医学では証 A先生は帰り際に、 「お父様に、ご家族の

れしかったと思います また涙を浮かべた母に、 け言われてたのに…… ら笑みがこぼれた。 のが有効です。だから今 書は日付の一番新しいも 言書と同じですよ。遺言 A先生はほほ笑んだ。「遺 日のお父様のメッセージ

笑顔をリュックにいっぱ の話」を参考にさせても いで駆け付けてくれたA ったが、今でも白衣を脱 ですからね」って。 い詰めて、天国に旅立っ いても、ぜひ「ここだけ 先生を思い出す。 絶対に『ここだけの話』 今後の自分の人生にお 間もなく父は、家族の あれから長い歳月が経



の親友だった寛吉さん くんだ。中では父の無一 げているだけだった父 つろな目で、天井を見上 り声を上げた。普段はう 突然「グワー」っと、 ら、何か語り掛けていた。 が、父の両頬をなでなが たちはぼうぜんと立ちす 屋のドアを開けた時、 買い物袋をぶら下げて部 くために病室を空けた。 はほんの15分、売店に行 前だったろうか。私たち 父が他界する1カ月ほど そしてあの出来事は、 すると次の瞬間、父が

第1回 生命を見つめるフォト&エッセー 入賞者名簿

ベッドから起き上が

厚生労働大臣賞「愉快なひと時」 日本医師会賞 読売新聞社賞 審査員特別賞 入選

「負けない」 「おしゃぶり」 「愛おしい…」 「母さんお肩をたたきましょう

「60回目の結婚記念日」 「じいちゃんの長芋」 「順番ですよ」 「輝く」

睦子(滋賀県) 西本 重信 雅美 (東京都) 「A先生の『ここだけの話』」 惠子(徳島県) 渡辺

【一般の部】

エッセー部門

厚生労働大臣賞「寄り添う眼差しに」 日本医師会賞 読売新聞社賞

入選

「大きなお地蔵さんのような病院」 審査員特別賞 「がらんどうの生」 「みいちゃんへ」 「あなたには、時間がない」

「ビールで乾杯」 「心の交流」 「共感」

「笑顔の力」 「患者の家族として」 「幸せに『生きる』ということ」 「ベッドで散歩」

修行(新潟県) 古泉 南耀(東京都) 下萩 「おじいさんのお手つだい」 横山 紗来 (兵庫県) 「私はNICU卒業生」 石野 美宙(東京都) 「わたしがうさぎに伝えたい気持ち」 新池谷 悠(群馬県)

【小学生の部】 最優秀賞

【中高生の部】 最優秀賞

優秀賞

優秀賞

集中によって、地域医療

は、専攻医の都市部への

新専門医制度について

結果となった。

も聞かれる。 勢いであると指摘する声 か更に加速させるような 流れを食い止めるどころ がっており、地域偏在の 療科間の格差はむしろ広 講じたにもかかわらず、 域偏在を解消する対策を 都道府県格差あるいは診 新専門医制度では、地

であったという。 小児科では徳島県、佐

本年4月から新専門医

宮崎県)。 ない県が、7県もある(岩 徳島県、香川県、大分県、 手県、福井県、鳥取県、 産婦人科においても、た 1名しかいないという。 った1名しか希望者がい

となると想定されてい 新専門医制度の「専攻医」

地域において使命感を持 ことは、現在に至るまで、 がら研修医教育に情熱を って、地域医療を担いな

年間の採用実績を超えな

いことが条件とされた。

領域については、過去5

め、5都府県の14の基本 への影響が懸念されたた

門医制度と医師の働き方改革

東京慈恵会医科大学客員教授/東京都医師会理事/日医勤務医委員会委員 落合和彦

高知県5名、宮崎県9名、 0名であるのに対して、 ば、あくまでも基幹施設 福井県11名、島根県12名 科においては東京が52 への登録数であるが、内

山県、山梨県も希望者が く、岩手県、山形県、富 賀県において希望者がな

録は終了し、二次登録を なっている。既に一次登 制度が開始されることに

待つばかりであるが、お

おむね8300名程度が

傾けてくれた指導医達の いずれにしても重要な

現時点では正確な数字が の、ある程度予想された 公表されていないもの

らである。

一次の登録数で言え

育成していた病院であっ

師派遣制度である。 のが医師少数区域への医 の自由を損なう」といっ

士気を奪ってはならない

が、地域医療をいかにし

ることは間違いないだろ 論の必要性が叫ばれてい て守るのか、国民的な議

本村和久

養成が中心であったが、

のも特徴である。

病院であっても基幹病院 機関が思いの外多いこと を採用できなくなる医療 とはなれず、後期研修医 が上がり、初期臨床研修 ている。後期研修医を採 も問題点として挙げられ 今回の新専門医制度で 施設基準のハードル

とは、想像に難くないか 派遣を受けられる担保が なっても、常時専攻医の の基幹施設の連携施設と ベーションが低下するこ 用できなかった病院では 有能な「指導医」のモチ 地域の中小病院が都会 道府県協議会の議論を踏 明らかになった場合、都 ど、地域医療への影響が では、医師の地域偏在な 提案されているという。 際に評価することなどが どの病院の管理者になる や、地域医療支援病院な を広告可能とすること し、認定医師であること 有する医師を同省が認定 定期間以上の勤務経験を 「医師少数区域」での この問題に関して日医

なれない地方の病院は、 修病院を選ぶことが想定 取得を念頭に初期臨床研 これまで研修医を十分に を意味している。 多大な影響が生じること 療を支える医師の確保に なく、このことは地域医 されるため、基幹施設に 加えて、専門医の資格 ている。 るよう主張していくとし のある具体策が検討され 科会」において、実効性 検討会」の「医師需給分 療従事者の需給に関する 方針を掲げ、厚労省の「医 を一層強化し、対応する 日本専門医機構との連携 性を強調するとともに、 まえて対応していく必要

生労働省が検討している 偏在の解消策として、厚 くなった県における地域 も十分に考えられるので 保できないといった事態 たとしても、研修医が確 専攻医数が極めて少な が話題になっている。医 り、「医師の働き方改革 の基幹病院への労働基準 風潮が一般的になり、多 師も労働者として捉える 増えているとの指摘もあ 監督署の立ち入り調査が 一方、ここにきて全国

当然、医療界から「医師 た異論が噴出している この施策に対しては、 まであるが、2年の有期 は各病院によってさまざ している現状がある。 研修医の労働上の身分

また、厚労省からは

地域支援病院で 島医者を育

1978年より自治医科

沖縄県立中部病院総合診療科

7年より医師研修事業を 医療圏、中部医療圏(人 床の地域支援病院である。 口46万人) にある550 に設立、その後、196 第二次大戦後の混乱期 当院は、沖縄県の二次

ァレンスや抄読会を行わ 多く、当然のことながら、 なくなったり、患者さん が順守されている場合が 労働者としての勤務体制 契約職員としている例が 午後5時以降はカンフ

くの病院で「工夫を凝ら うなど、勤務時間外の研 きではあるものの、指導 いては当然配慮されるべ も、勤務時間の制限につ 格段に軽減している。 修医の業務は以前に比べ への病状説明も日中に行 方、指導医であって

ているとの指摘もある。 研修医や専攻医のやり残 きた文化的な背景から 医クラスの医師が育って した業務を肩代わりする 豊富な連携施設に行くこ はなく、地方の症例数が 学病院で研修するわけで 間である3年間全てを大 でも、基本領域の研修期 とも全く問題ないとして

しながら」これらを実践

ている。 でカバーされている。 ログラムに関係する医師 離島診療所全でが当院プ 後の卒業生は77名を越え プログラムとなり、その からは日本プライマリ・ 大学の卒業生を受け入 診療所に送り出してい も枠を広げ、2006年 クア学会認定の後期研修 |医科大学以外の大学に た。 1996年からは自 れ、卒後3年目から医師 今年度は、16ある県立 人が勤務する県立離島

よる振り返りと、3カ月

須とする」条件をクリア

に1回の研修先訪問を必

しての赴任となる。

る週に1回の直接対面ま

たは遠隔テレビ会議等に

2

に関しては当院で十分な

急性疾患に関わるもの

共に減少した地方の中小 いことも事実である。 質の担保などの課題が多 もできる仕事は、医師以 病院における「働き方改 いるものの、要員、経費、 ト」の実践が叫ばれては 外に移譲するタスクシフ 近年、「医師でなくて まして研修医、専攻医

ば、手当てする財源もな 革」は、タスクシフトす 学病院が基幹施設の場合 く、殊の外深刻である。 るべき人材もいなけれ 機構側では、たとえ大 ことや、地域枠・地元出 身枠の拡充、医師需給の ンターの実効性を高める 「医師の証明 全国の地域医療支援セ -採用時に使える医師の身分詞 医師採用時、医師資格証 (HPKI力 を、医師免許証の代わりとすることがで

になり、いわゆる「先祖 があることも事実であ るのではないかとの懸念 返り」してしまい、地域 いるが、それが医局人事 ニーズと外れることにな

をご覧下さい。 日本医師会 電子認証センター 検索 日本医師会 電子認証センタ・

きるようになりました。詳しくは、当セ

AMPLE

ジの2017年12月

22日付News欄

開始、1000名以上の 卒業生を送り出している 当初は病院で働く医師 門医機構が認定する総合 まることとなる。 018年からは、日本専 診療研修プログラムが始 研修を行うことができる

ある。後期(専攻医)研 構が定める「指導医によ 単独診療(専攻医3年目) 修中に、離島診療所での 徴は、「島医者養成」に るところだが、専門医機 えるのか?」と議論にな がプログラムされている。 当院のプログラムの特 「単独診療が研修と言 り継がれている。離島で ことになる。 家族全体、地域全体を診 が、離島診療所で必要な 医療に関わるさまざまな という言葉が指導医で語 診療所に赴任して、実地 診療所での短期間研修な る能力は、赴任前の離島 職種や住民との協働を離 でその能力を身につける どで土台をつくり、離島 「島医者は島が育てる」

ある。 る医師の仕事の醍醐味で 議や離島への直接訪問で く過程を、遠隔テレビ会 実感できるのが、指導す 島診療所医師は行ってい 医師として成長してい

維持という面において、 期的には医師の地域偏在 としての地域医療体制の 思われるが、喫緊の課題 感している。 も含めて、国民的な議論 の解消に貢献するものと を深めてもらいたいと痛 て「医師の働き方改革」 見える化」などは、 新専門医制度」に加え